

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2
発達段階に応じた教育の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 保健体育課健康づくり推進室長 日野久美 電話番号 0852-22-5425

事務事業の名称	児童生徒の健康管理実施事業	
目的	(1) 対象	県立学校の児童生徒
	(2) 意図	病気の予防、早期発見、早期治療に努める
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病等の早期発見・早期治療により健康の保持増進に努め、健康で安全な学校生活を送ることができるよう県立学校の児童生徒の健康診断を実施する。 ・県立学校の学校医を委嘱して、保健管理に関する専門的事項に関し、技術及び指導に従事願う。 ・県立特別支援学校小・中学部の要保護・準要保護の児童生徒に対して、医療費の負担を軽減するための費用を助成する。 ・教職員の麻しんの対する免疫状況を把握するために抗体検査を実施する。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 二次検診受診率（心電図）	目標値		98.5	99.0	99.5	100.0	%
	式・定義 二次検診の受診者数（心電図）／一次検診で二次検診の必要があると判定された児童生徒数（心電図）	取組目標値						
		実績値	87.5	89.0	91.0			
		達成率	-	90.4	92.0	-	-	%
2	指標名	目標値						%
	式・定義	取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	69,587	71,535
うち一般財源 (千円)	69,587	71,535

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

・心電図精密検査の受検率は昨年度と比較し高くなったものの、100%には達していない。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・心電図検査については、養護教諭研修を通して健康管理の目的及び主治医や保護者との連携を踏まえた取組の重要性について指導したことや、精密検査が必要な児童生徒の事後指導や管理が徹底できるよう報告書様式を改善したことにより、精密検査（2次検査）の実施率が高くなってきた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・本来は対象者の精密検査実施率は100%となるべきだが、まだ達成できていない。

②困っている状況が発生している「原因」

・養護教諭が行う心電図検査の事後指導（2次検査受診勧奨）や、事後指導に係る関係教職員間の連携が十分でない。
・2次検査を受診していない児童生徒の状況把握、未受診の原因把握が十分でない。

③原因を解消するための「課題」

・学校全体で健康管理の重要性について認識を共有し、組織的に心電図検査の事後指導（2次検査受診勧奨）にあたる。
・2次検査未実施の理由を可能な範囲で把握していく。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・養護教諭研修等を通して、健康診断の事前事後指導の内容について確認するとともに、教職員間で共通理解を図り、組織的に指導にあたるよう、周知徹底する。
・児童生徒、保護者に対し、健康診断の意義や目的、有所見時の望ましい保健行動について指導する。
・各校から提出される報告書の内容を細かくチェックし受診状況を確認するとともに、可能な範囲で未受診の理由について把握する。